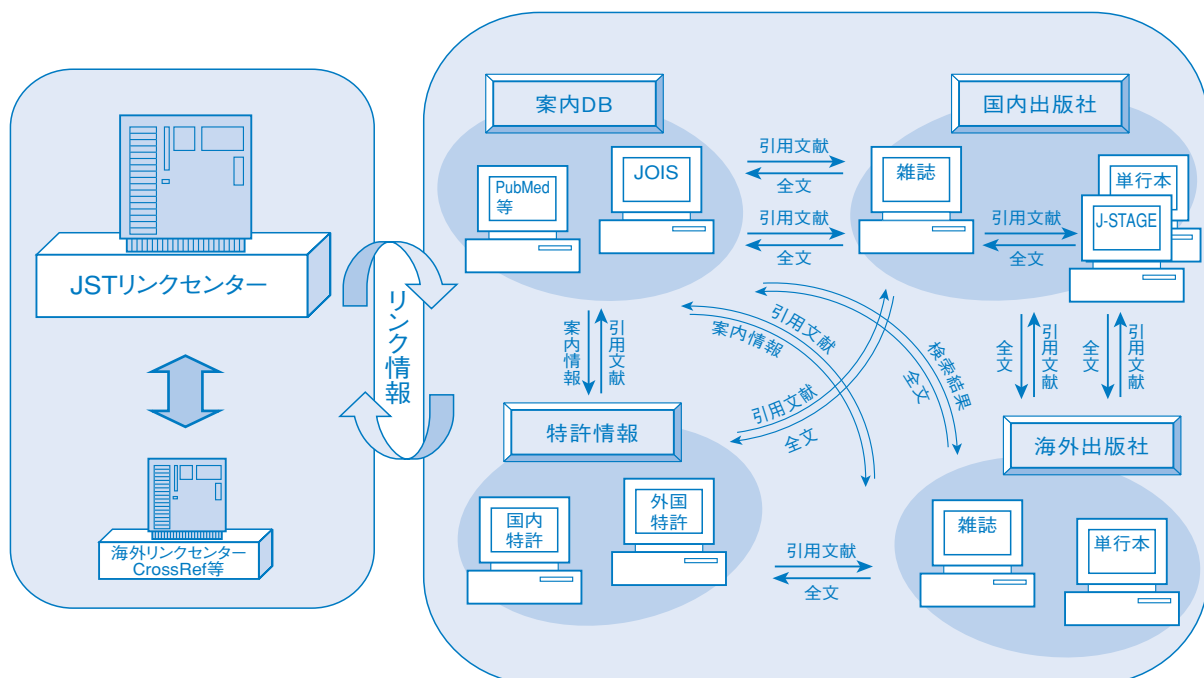


JSTリンクセンター

JSTでは、平成14年度の運用開始を目指してJSTリンクセンターの開発を進めております。JSTリンクセンターは日本国内で発行される電子ジャーナルについての相互リンクを実現することを目的とした、J-STAGEとのつながりが非常に深いシステムです。このJSTリンクセンターの完成により、以下のようなことが実現されます。

- (1) 国内で発行された電子ジャーナルの所在情報を一括して管理します。今後J-STAGE以外の電子ジャーナルサイトと連携することにより、英語文献だけでなく、日本語文献についても引用文献リンクが実現されるようになります。
- (2) 引用文献の表記法は、ジャーナル毎、更には著者毎に異なり、統一されていないことが引用文献リンクの成功率を低くしている要因の一つですが、JSTリンクセンターは、引用文献記述の表記の揺れ（項目の順番、区切り記号、雑誌名表記など）を、ある程度まで系統的に解決し、引用文献リンクの成功率を高めます。
- (3) JOISへのリンクも、より早く、効率的に行われるようになります。

J-STAGEとJSTリンクセンターを組み合わせることにより、電子ジャーナル間、電子ジャーナルとデータベース間のリンクを促進し、一層効果的な情報発信が行える環境の整備に努めてまいります。



JSTリンクセンターのイメージ

J-STAGE 2 の開発について

平成11年の秋から、皆さまにご利用いただいているJ-STAGEですが、サービス開始以来、学協会の皆さまから様々なご要望をいただいております。現行システムの機能拡張だけでは対応しきれない部分も出てまいりました。また、掲載されるジャーナルの数が増えるに従って、システムの信頼性が一段と重要になります。そこで、JSTでは現在稼働しているシステムを元に、大規模なシステム改造に着手いたしました。新しく開発するシステムをJ-STAGE 2と呼んでおります。

主な開発予定項目は以下の通りです。

- (1) 投稿・受付から審査・査読までの工程をフレキシブルにし、容易に導入できるシステムにいたします。また、投稿からの工程をご利用いただくことにより、電子ジャーナル作成工程全体のコスト低減、論文公開までの期間の短縮化が期待されます。
- (2) ジャーナル毎のカスタマイズを容易にし、ご要望に対するスピーディな対応を可能にいたします。
- (3) XMLを利用することによるデータの交換・検索の実現、横断検索機能、課金機能などの新機能を提供いたします。

開発スケジュールに関しましては、今年度は基本設計を行い、平成14年度に本格的な開発に着手し、平成15年度中にJ-STAGE 2での運用を開始する予定です。新しいシステムの開発に伴い、学協会の皆さまにいろいろとご意見を伺ったり、システムの移行に際してご協力をお願いすることが出てくるかと思いますが、よろしく願いいたします。

具体的な開発内容や開発の進捗状況につきましては、今後、J-STAGE NEWS上でも随時お知らせしてまいります。

利用学会意見交換会を開催いたしました

2001年10月25日（中西印刷株式会社 会議室）、11月6日（JST 東京本部 地下1F大ホール）の2回に渡り、J-STAGE利用学会意見交換会を開催いたしました。

交換会では、JST側から平成13年度の運用状況と主な開発項目についてご報告させていただきました。

ディスカッションの場では、課金機能についてのご要望の他、予稿集公開システムの機能改善など様々なご要望をいただきました。これら貴重なご意見を基にJ-STAGEの開発などを進めていきたいと考えております。



11月6日開催 利用学会意見交換会にて

アクセス統計データ配信サービスを開始いたしました

前号（No.3）でご案内いたしました利用統計機能の名称を「アクセス統計データ配信サービス」とし、2001年12月よりサービスを開始いたしました。本サービスは、PDFファイルがダウンロードされた件数を、論文別、国内外別（ドメイン名の第1レベルがjpか否かで区別）で集計し、ジャーナルトップページ以下のアクセス数とともに、毎月、申請していただいたメールアドレス宛にCSVファイルでお送りするものです。

アクセス統計のデータ配信をご希望の場合は、JST 電子ジャーナル部門までお問い合わせください。

NIIとJSTの電子ジャーナル事業の統合について

国立情報学研究所 (NII) と科学技術振興事業団 (JST) の情報関係事業の連携・協力について、NIIとJST及び文部科学省の三者で検討した結果、電子ジャーナル事業に関してはJ-STAGEに一本化することになりました。これを受けて、三者で具体的方策を協議してまいりました。

このたび、今後の対応については以下のような方針で取組んで行くこととなりました。

- (1) 学協会等のニーズに即した支援体制の強化
- (2) 引用文献リンク、データの有効利用に関するNIIとJSTの連携強化
- (3) 課金機能への対応

課金機能についてはJ-STAGE 2 での実現に向け、現在JSTで検討を進めています。また、NIIのオンラインジャーナル編集・出版システム (NACSIS-OLJ) については、平成14年度にJSTに吸収・整理され、JSTがNIIの協力の下に運営していく方向で、具体的な対応について今後、検討を進めて行きます。

組版ソフト「Diov」用J-STAGE ツールのご紹介

J-STAGEに論文を掲載するためには、書誌情報 (タイトル、著者名等) や引用情報を構造化されたSGML (Standard Generalized Markup Language) データにする必要があること、およびSGMLデータ作成を支援する「J-STAGE SGML 編集ツール」を開発したことを前号でご紹介しました。

SGMLデータ作成支援の第2弾として、組版ソフト「Diov」で編集・組版したデータをWindows環境 (Windows98, 2000, Me, NT) 下でSGMLデータに変換するツールを新たに開発しました。本ツールは、無料で提供いたします。詳細につきましては、JST 電子ジャーナル部門までお問い合わせください。

SGML 編集ツール デモ版の配布を開始いたしました

前号でご紹介いたしました、J-STAGE SGML 編集ツールのデモ版の配布を開始いたしました。ご希望の方はJST電子ジャーナル部門までお問い合わせください。また、本ツールの対応OSについて、訂正がございます。Windows版に関しては、Windows 95, 98, Me, 2000, NT 4.0 (ServicePack3 以降) になります。Macintoshに関しては、MacOS 8.1以上になります。

Online Information 2001 で J-STAGE を紹介



2001年12月4日～6日にロンドンにて開催された Online Information 2001 国際会議に参加し、280 団体が出展した展示会において、J-STAGEのデモンストレーションを行いました。数多くの見学者がJSTのブースを訪れ、J-STAGEのデモも好評を得ました。本会議ではJ-STAGEを含む主要な電子ジャーナルサイトが一同に集まり、新たなサービスの紹介がなされました。

最近の状況としてバーチャルジャーナル等への取り組みや、利用者にとって閲覧の利便性を向上させる新サービス (CASのエンハンスリンクング、HighWireのMyHighWire等) が注目を集めていました。



登載誌が増えました

1月28日現在、J-STAGEに登載されている資料は、72誌（ジャーナルは54誌、予稿集・要旨集2誌、報告書16誌）です。J-STAGE NEWS No.3以降、新たに登載されたものは、下記の26誌です。

	誌名	学会名
ジャーナル	Breeding Science	日本育種学会
	Chemistry Letters	社団法人 日本化学会
	TRANSACTIONS OF THE JAPAN SOCIETY FOR AERONAUTICAL AND SPACE SCIENCES	社団法人 日本航空宇宙学会
	情報地質	日本情報地質学会
	繊維学会誌	社団法人 繊維学会
	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	中部日本整形外科災害外科学会
	日本高血圧学会機関誌	日本高血圧学会
	理学療法科学	理学療法科学学会
予稿集 要旨集	情報科学技術研究会予稿集	科学技術振興事業団
	情報化学討論会・構造活性相関シンポジウム講演要旨集	日本化学会情報化学部会 日本薬学会医薬化学部会
報告書	Proceedings of The First International Conference on Systems Biology The 9th JST International Symposium	科学技術振興事業団
	加藤たん白生態プロジェクトシンポジウム報告資料	科学技術振興事業団
	共同研究終了報告書「脳活動に伴う二次信号の計測とその発生機序に関する研究」	科学技術振興事業団
	共同研究終了報告書「各種反応・プロセスにおける磁気効果に関する研究」	科学技術振興事業団
	計算科学技術活用型特定研究開発推進事業 平成10年度採択 基本型 研究開発中間報告会 予稿集	科学技術振興事業団
	「固体表面の電子状態シミュレーションとソフト加工による実証」終了報告書	科学技術振興事業団
	「さきがけ研究21」研究報告会「形とはたらき」領域講演要旨集	科学技術振興事業団
	「さきがけ研究21」研究報告会「状態と変革」領域講演要旨集	科学技術振興事業団
	「さきがけ研究21」研究報告会「情報と知」領域講演要旨集	科学技術振興事業団
	「さきがけ研究21」研究報告会「素過程と連携」領域講演要旨集	科学技術振興事業団
	終了報告書「科学技術振興事業団国際共同研究セラミックス超塑性プロジェクト」	科学技術振興事業団
	土居バイオアシンメトリプロジェクトシンポジウム要旨集	科学技術振興事業団
	「動植物細胞におけるストレス応答機構」に関する共同研究	科学技術振興事業団
	平成11年度 戦略的基礎研究推進事業「研究年報」	科学技術振興事業団
	舩本単一量子点プロジェクトシンポジウム講演要旨集	科学技術振興事業団
	御子柴細胞制御プロジェクトシンポジウム講演要旨集	科学技術振興事業団



J-STAGE NEWSはJ-STAGEホームページでも公開しております

2001年10月よりJ-STAGEホームページでJ-STAGE NEWSを公開しております。J-STAGEのトップページに用意されている“J-STAGE NEWS”というボタンをクリックしていただくと、創刊号よりお読みいただくことができますので、ぜひご利用ください。



■ 編集後記 ■

J-STAGEを担当させて戴くことになってから3ヶ月が経ちました。最近、海外からJ-STAGEに登載されていない過去の論文への問い合わせが増え、機会が増えて参りました。J-STAGEの注目度が高まっていると認識しております。J-STAGEをより良くしていくため、皆様のご指導を賜りたく存じます。(な)

★ J-STAGEおよびJ-STAGE NEWSに関するご意見・ご質問をお待ちしております。

編集 科学技術振興事業団 情報加工分析部 電子ジャーナル部門
 発行人 情報加工分析部長 西田龍正
 住所 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ
 電話 03-5214-8455 (ダイヤルイン)
 E-MAIL contact@jstage.jst.go.jp